

## 保健体育科調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫＞</p> <p>○健康・安全について科学的に理解するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○体育分野と保健分野の相互の関連が図られるように、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○運動やスポーツの意義や多様性について理解するために、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習内容を理解しやすくするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○生徒の学習意欲を喚起するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、どのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○生徒が学習しやすいよう、レイアウトや表現等にはどのような工夫が見られるか。</p> <p>○脚注、注釈等には、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○記号、用語等には、どのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

<p>書名 項目</p>	<p><b>新編 新しい保健体育</b></p>	<p>2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>                  ○見開き1ページ1単位の学習を基本とし、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップが学習の流れとして配置され、章末問題により、知識の習得状況が確認できるよう工夫されている。                  ○「巻末スキルブック」が新設され、知識や技能の確認や習得ができるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                  ○「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」では、四つのステップで発問を設け、合理的な課題の解決に向けて、思考し判断するとともに、表現することを通して、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。                  ○「活用する」では、習得した知識・技能を用いて他者に説明したり、話し合ったりすることで、思考を深める活動ができるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                  ○「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」と学習が進むことや、写真や表等が効果的に使用されることで、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。                  ○他教科と関連する学習内容が記載されていることで、教科等横断的に学ぶことができ、生徒が興味や関心をもち意欲的に授業に取り組めるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>                  ○各章の扉に「小学校で学習したこと」と「高校で学習すること」、「保健体育の職業」が記載されていることで、生涯にわたる学びにつながるよう工夫されている。                  ○生活につながる口絵・章末資料があり、自分たちの生活とのつながりを考えて、SDGsやテクノロジー、情報についても学ぶことができるよう工夫されている。                  ○「巻末スキルブック」による健康や安全に関するスキルの手本や詳しい解説があることで、生涯にわたって役立つスキルが身に付くよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○各章末に「章末資料」「キーワード」「章末問題」「日常生活に生かそう」「SDGsについて考えよう」が設けられ、理解が深められるよう工夫されている。                  ○充実した口絵に加え、「教科書の使い方」「保健体育の学習方法」「巻末スキルブック」が示され、よりよく学習できるよう工夫されている。                  ○「Dマークコンテンツ」では、インターネット学習ができるよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○本文などには、UDフォントが使用されている。                  ○単語や文章、文末に補足説明や関連資料へのリンクが示されている。                  ○学習を深めたり、他教科や他ページとのつながりを示したりするために、10個のマークが活用されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○各章の扉に「この章で学習すること」として、課題と学習の流れが示され、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。                  ○学習の筋道が見える構成に加え、マスコットが学習のヒントを提示している。                  ○興味・関心に応じて学びを深め広げることができる資料や各章末の発展的資料、「巻末スキルブック」により、個別最適な学びにつながるよう工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1>中学校保健体育</h1>	4 大日本
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1時間の学習の流れを「学習のねらい」「つかもう」「課題を解決しよう」「深めよう」「まとめよう」「活かそう」と構成し、資料を活用しながら学習できるように工夫されている。</li> <li>○資料やイラスト、実技の写真、一覧性の高い折り込みを活用して、技能の習得に役立てるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「つかもう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」では、課題の発見・解決・学習したことを生かすなどの様々な活動により、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> <li>○「学びを活かそう」では、学習したことを理解し、生活に生かすための課題を設定し、対話による思考を深める活動を通して、深い学びが実現できるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○口絵では、生徒が自分のこととして捉えて学習する重要性を理解し、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>○「つかもう」では、身近な題材や生活について取り上げることで、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びを活かそう」では、各章に、自分で考え実践していく内容が設けられており、生涯にわたって実践する資質や能力を養うことができるよう工夫されている。</li> <li>○各単元の学習内容を「保健編」「体育編」「他教科」のリンクに分けて示し、関連が深められるように工夫されている。</li> <li>○トピックスやミニ知識を掲載し、より深い学びと理解をすることができ、生涯にわたる健康の保持増進や豊かなスポーツライフを実現できるよう工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○章末の「学びを活かそう」では、記入欄を設け、自分の意見を書き入れることができ、表現力を高められるよう工夫されている。</li> <li>○写真や、現代的なテーマの口絵に加え、「教科書の使い方」や「1時間の学習の主な流れ」が示され、見通しをもって学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ウェブサイト内で動画を使ったインターネット学習ができるよう工夫されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文などには、UDフォントが使用されている。</li> <li>○単語や文章、文末に補足説明や関連資料へのリンクが示されている。</li> <li>○学習を深めたり、他教科や他ページとのつながりを示したりするために、10個のマークが活用されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各章の扉に「この章で学習すること」として、課題と学習の流れが示され、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。</li> <li>○本文と資料が明確に分かれた構成となっており、参照性を高める作りとなっている。</li> <li>○「学習のまとめ」では豊富な関連資料等を基に幅広い知識を習得し、発展させるような内容が示されている。</li> </ul>	

書名 項目	<b>最新 中学校保健体育</b>	50 大修館
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学習項目で見開き1ページを1単位時間とし、学びを3ステップ構成「つかむ(章とびら)」「身につける・考える(本文・実習)」「まとめる・振り返る(章のまとめ)」とすることで、知識の定着が図れるよう工夫されている。</li> <li>○イラストや図表、実習ページが豊富に掲載されており、視覚的にも知識と技能の習得に役立つよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の三つのステップで構成するとともに、多様な導入活動を提示し、学習課題につながる気付きや思考を促す学習過程を通じて、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。</li> <li>○「学習のまとめ」では、様々な表現活動を提示し、多様な考え方を理解したり、集団としての考えを形成したりすることができるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「保健体育の学び方」や「デジタル教材の使い方」が掲載されていることで、生徒が教科書をより効果的に活用して学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○「課題をつかむ」から「学習のまとめ」という構成の中に、写真や図が効果的に掲載されていることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成し、「学習のまとめ」で学んだことを生かせるよう工夫されている。</li> <li>○社会の急速な変化に対応するため、今日的な課題を「コラム」や「特集資料」として取り上げ、生涯にわたって実践する資質や能力を養えるよう工夫されている。</li> <li>○共生社会や多様性に関連するテーマを重視して説明していることで、自己に合った様々な立場でスポーツや健康増進に取り組んでいけるよう工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各章末に設けられている「章のまとめ」には、基礎・基本の習得や確認の問題が示されていて、観点別に振り返りができるよう工夫されている。</li> <li>○「教科書の使い方」や学びを生活や社会につなげる口絵、様々な現代課題に対応した豊富な「特集資料」「コラム」を設け、深く学習できるよう工夫されている。</li> <li>○デジタル教材によって、インターネット学習ができるよう工夫されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文などには、UDフォントが使用されている。</li> <li>○単語や文章、文末に補足説明や関連資料へのリンクが示されている。</li> <li>○学習を深めたり、他教科や他ページとのつながりを示したりするために、8個のマークが活用されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各章の扉に「この章で学習すること」として、課題と学習の流れが示され、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。</li> <li>○図や資料などが豊富に掲載され、レイアウトが見やすく構成されている。</li> <li>○学びをサポートする章のまとめや、全ての生徒が支障なく学習できるような配慮がされ、個別最適な学びを実現することができるよう工夫されている。</li> </ul>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新・中学保健体育</h1>	2 2 4 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学 研</div>
内 容	<p><b>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「課題の発見」「学習の課題」「課題の解決」「学びの活用」で構成され、「キーワード」を記載することで学習の見通しをもちながら、その時間で習得した知識を活用する学習活動ができるよう工夫されている。</li> <li>○身に付けるべき技能には「技能」のマークを付し、イラストや写真・動画を活用して、学習を深められるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「課題の発見」「学習の課題」「課題の解決」「学びの活用」では、体育や保健の「見方・考え方」を働かせて、各項目で設けられた課題の解決に向けて考えたり話し合ったりしながら、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。</li> <li>○「学びの活用」では、身に付けた知識・技能や課題解決の道筋を基にした協働的な活動を通して、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○項目の最後にある「とりくもーター」によって主体的に取り組めたかを自己評価し、記録することができ、メタ認知に関わる力を育むことができるよう工夫されている。</li> <li>○「協働マーク」が付いた教え合いや学び合いの課題が提示されていて「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の基礎を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>＜生涯にわたる心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びの活用」によって日常生活の課題に対応する実践力が身に付くようにし、関係ある職業にはJOBマークを提示して実生活に結び付くよう工夫されている。</li> <li>○「情報サプリー」「探求」「発展」等のマーク掲載によって、生涯にわたる健康増進や豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成できるよう工夫されている。</li> <li>○「ウェルビーイング」の向上が重視されており、一人一人が自分自身の価値観や生き方を考えながらよりよく生きることを意識することができるよう工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各章末に「探求しようよ！」という補足資料や、学習を振り返り、生活に生かすことができる「章のまとめ」、学年の終わりに「学年のまとめ」が設けられている。</li> <li>○関心を高める工夫がされた口絵に加え、「教科書の使い方」や「さまざまな学習方法」についてイラスト付きで具体的に示されている。</li> <li>○デジタルコンテンツがあり、インターネット学習ができるよう工夫されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文などには、UDフォントが使用されている。</li> <li>○単語や文章、文末に補足説明や関連資料へのリンクが示されている。</li> <li>○学習を深めたり、他教科等や他ページとのつながりを示したりするために、11 個のマークが活用されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各章の扉に「この章で学習すること」として、課題と学習の流れが示され、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。</li> <li>○三つのステップ学習の流れに沿って、学習内容の要素が見やすく構成されている。</li> <li>○各章末に「探求しようよ！」を設け、興味・関心をもちやすい課題が取り上げられており、個別最適な学びにつながるよう工夫されている。</li> </ul>	

保健体育科 調査資料 2

○分量について

内容	東書	大日本	大修館	学研
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	198	196	206	206
2 体育理論、保健分野のページ数 (体育理論/保健分野)	32/124	39/122	40/140	38/132
3 絵・巻末の総ページ数	36	27	23	28

○単元別ページ数

東書	○体育編 32 ページ 「運動やスポーツの多様性」 11 ページ 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」 11 ページ 「文化としてのスポーツの意義」 10 ページ ○保健編 124 ページ 「健康な生活と疾病の予防」 54 ページ (①14 ページ②20 ページ③20 ページ) 「心身の機能の発達と心の健康」 28 ページ 「傷害の防止」 22 ページ 「健康と環境」 20 ページ
大日本	○体育編 39 ページ 「運動やスポーツの多様性」 12 ページ 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」 16 ページ 「文化としてのスポーツの意義」 11 ページ ○保健編 122 ページ 「健康な生活と疾病の予防」 50 ページ (①14 ページ②18 ページ③18 ページ) 「心身の機能の発達と心の健康」 25 ページ 「傷害の防止」 29 ページ 「健康と環境」 18 ページ
大修館	○体育編 40 ページ 「運動やスポーツの多様性」 12 ページ 「運動やスポーツの効果・学び方・安全」 16 ページ 「文化としてのスポーツ」 12 ページ ○保健編 140 ページ 「健康な生活と病気の予防」 60 ページ (①14 ページ②22 ページ③24 ページ) 「心身の発達と心の健康」 32 ページ 「けがの防止と応急手当」 26 ページ 「環境の健康への影響」 22 ページ
学研	○体育編 38 ページ 「スポーツの多様性」 12 ページ 「スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」 12 ページ 「文化としてのスポーツ」 14 ページ ○保健編 132 ページ 「健康な生活と疾病の予防」 56 ページ (①16 ページ②22 ページ③18 ページ) 「心身の発達と心の健康」 28 ページ 「傷害の防止」 28 ページ 「健康と環境」 20 ページ

○領域別教材数等について

内容		東書	大日本	大修館	学研
領域別教材数	運動やスポーツの多様性	3	3	3	3
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	3	3	3
	文化としてのスポーツの意義	3	3	3	3
	健康な生活と疾病の予防	21	17	20	15
	心身の機能の発達と心の健康	10	9	12	8
	傷害の防止	8	8	8	6
	健康と環境	5	6	8	7

○その他

内容		東書	大日本	大修館	学研
1	体育分野と保健分野の関連をもたせた教材数 ※「欲求やストレスへの対処」と「体ほぐしの運動」等	42	43	36	43
2	主体的・対話的で深い学びを促すための教材数 ※「考えてみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」等	249	153	127	191
3	発展的内容の教材数	20	15	13	18
4	QRコードの数	87	29	131	87